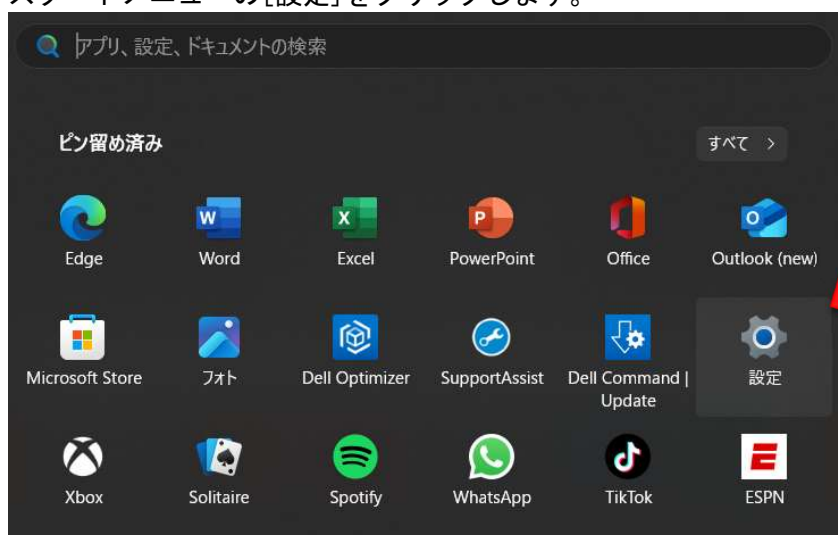


RC-U485 ドライバ・ソフト インストール方法 (Windows11 用)

ドライバソフトのインストールの前に、ドライバー署名の強制を無効に設定する必要があります。

1. スタートメニューの[設定]をクリックします。



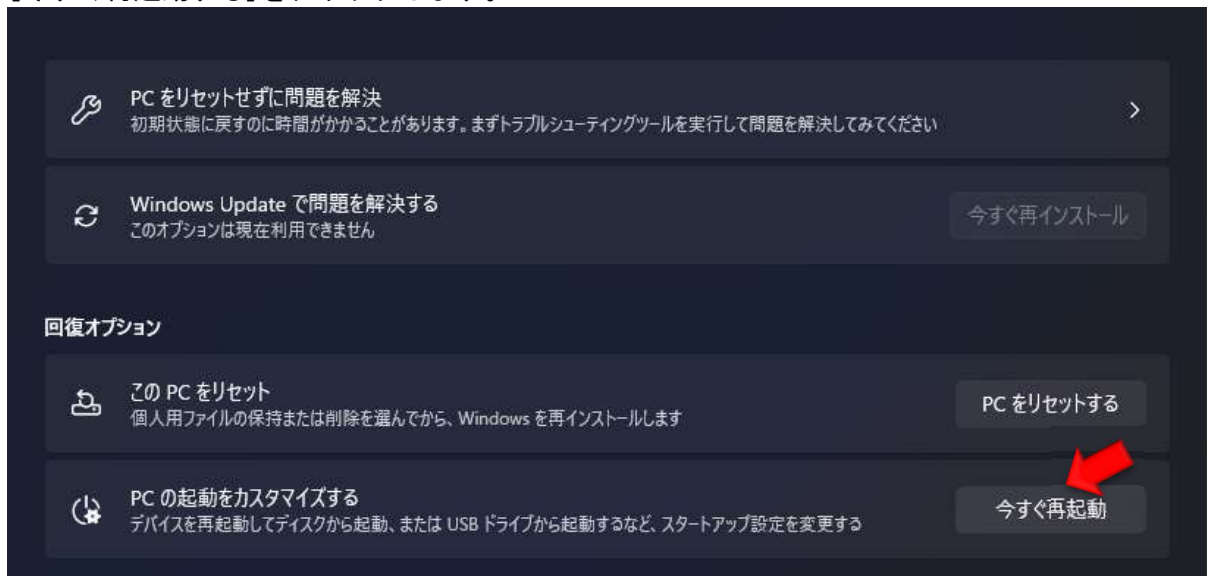
2. [システム]をクリックします。



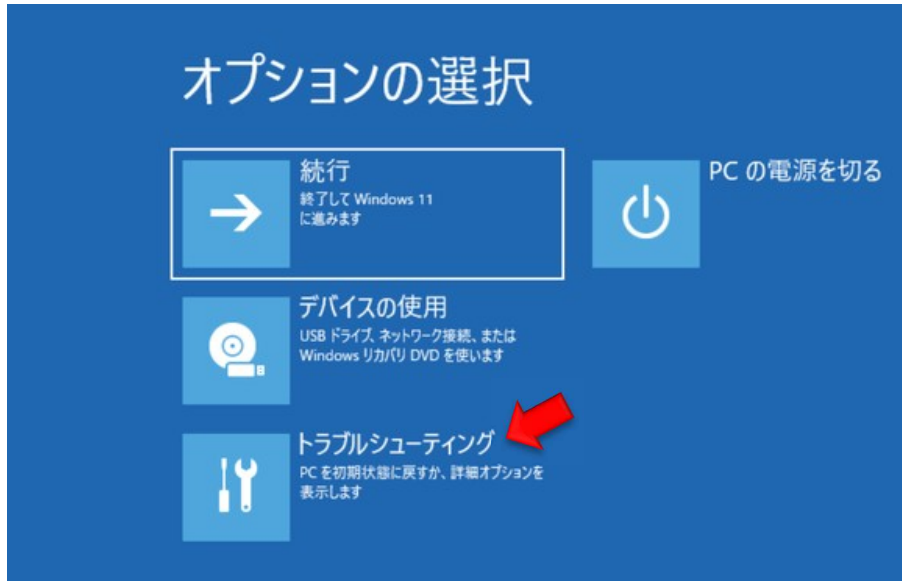
3. [回復]タブをクリックします。



4. [今すぐ再起動する]をクリックします。



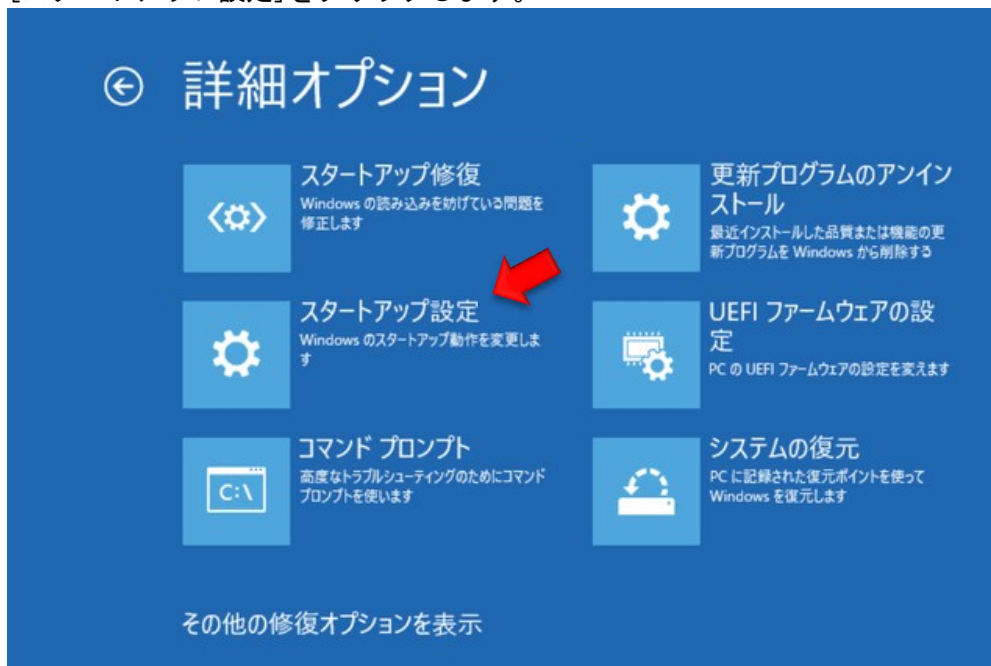
5. Windows が再起動し、以下の画面が表示されます。[トラブルシューティング]をクリックします。



6. [詳細オプション]をクリックします。



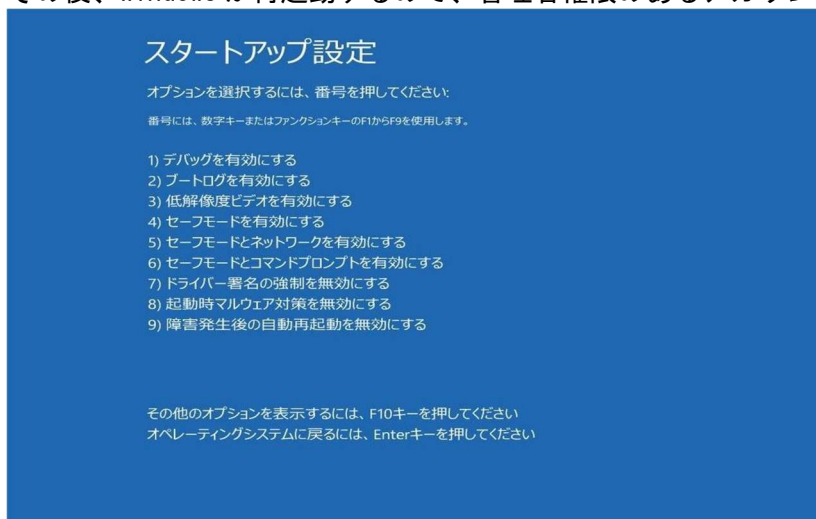
7. [スタートアップ設定]をクリックします。



8. [再起動]をクリックします。



9. Windows が再起動し、以下の画面が表示されます。ファンクションキーの F7 キーを押し、ドライバ署名の強制を無効にします。
その後、Windows が再起動するので、管理者権限のあるアカウントでログインします。



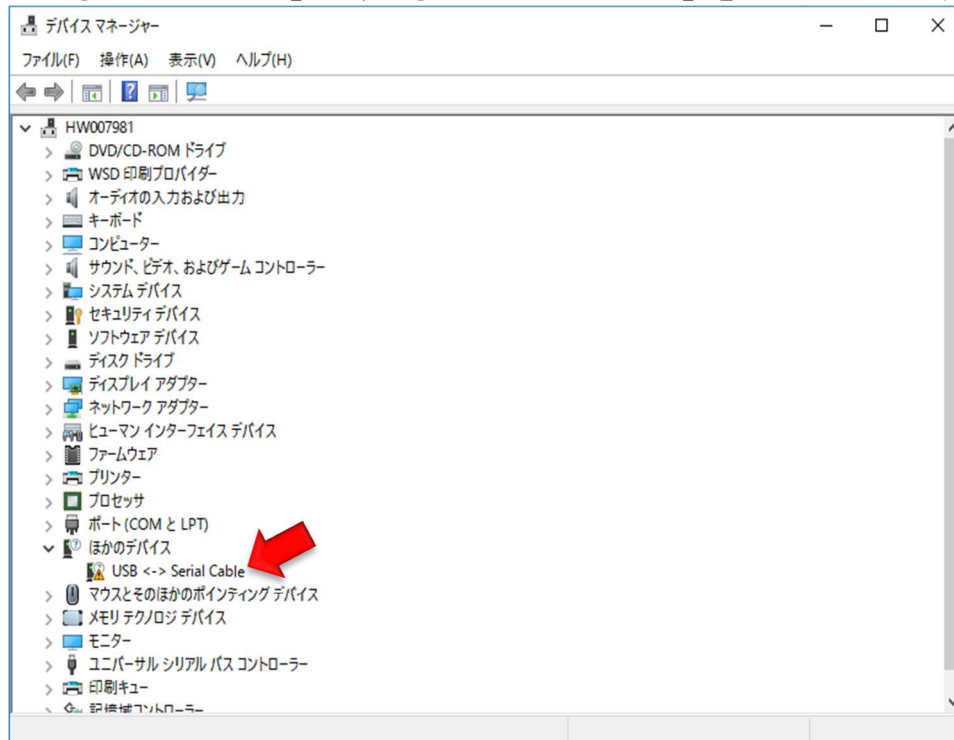
10. Windows が再起動したら、RSC-U485 を USB ポートに差し込み、以降の手順に従ってドライバーをインストールします。
11. Windows キーを右クリックします。



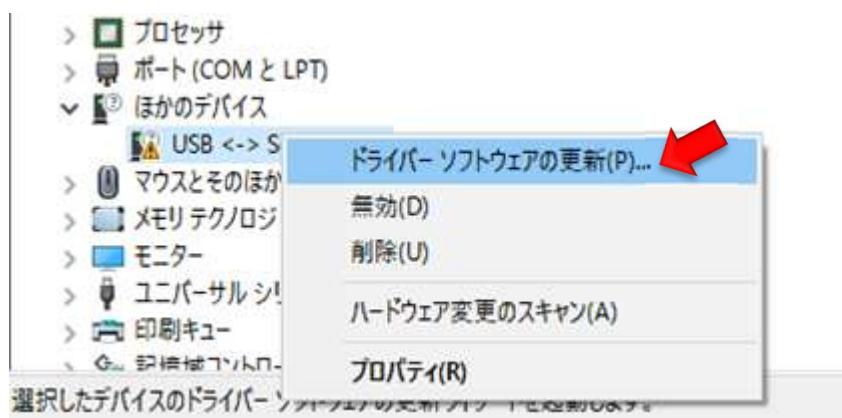
12. デバイスマネージャーをクリックします。



13. 『ほかのデバイス』にある『USB<->Serial Cable』を右クリックします。



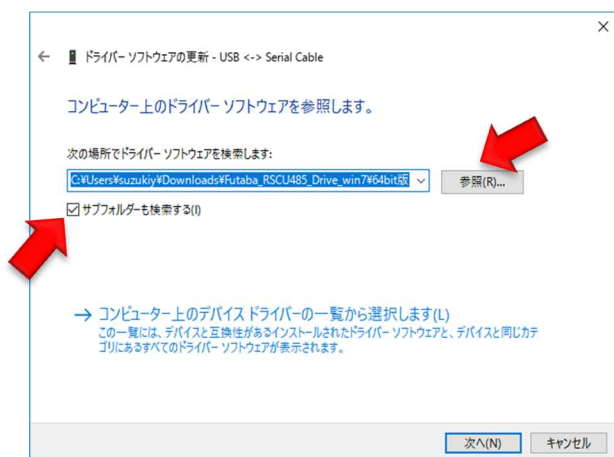
14. 『ドライバーソフトウェアの更新(P)...』をクリックします。



15. 下の画面がでるので、下段の『コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)』をクリックします。



16. ダウンロードしておいた、RSC-U485 のドライバーソフトウェアのフォルダーを選択します。この時、『サブフォルダーも検索する(I)』のチェックボックスをチェック☑します。



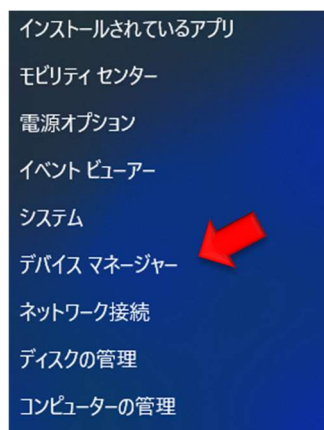
17. 下記画面がでるので、『このドライバーソフトウェアをインストールします(I)』をクリックします。



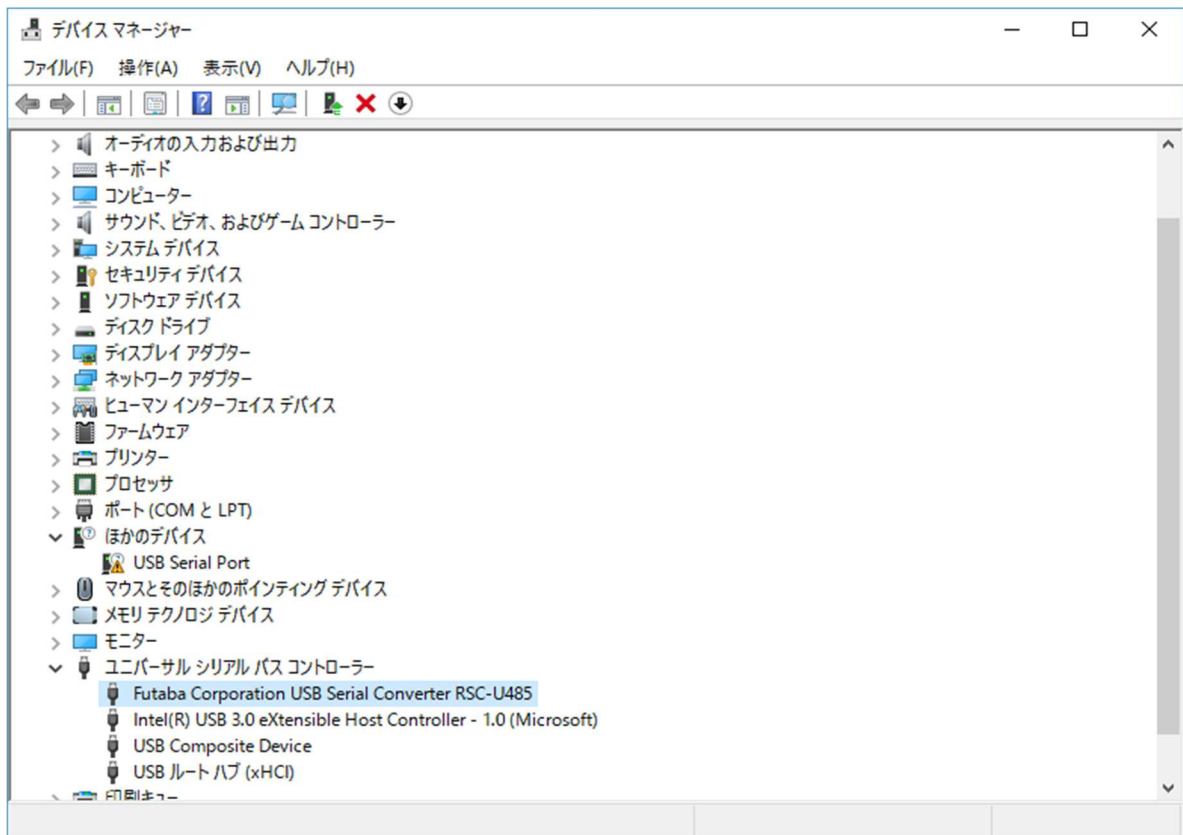
18. ドライバーソフトウェアがインストールされ、下記画面になるので、『閉じる(C)』ボタンをクリックします。



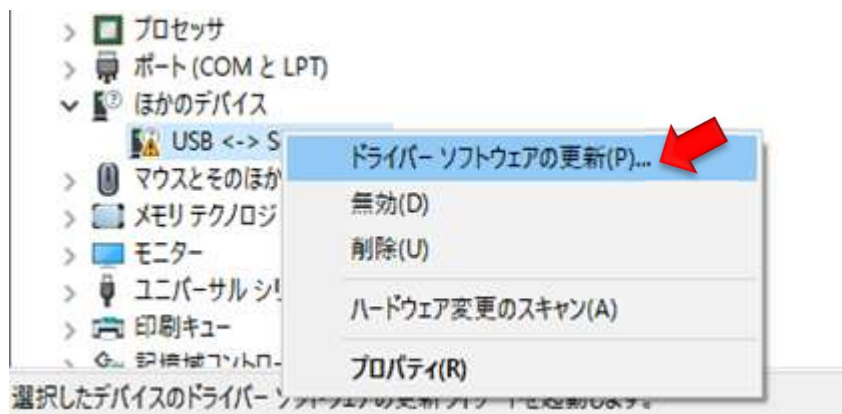
19. Windows キーを右クリックし、デバイスマネージャーをクリックします。



20. 『ユニバーサルシリアル バス コントローラー』に『Futaba Corporation USB Serial Converter RSC-U485』が表示され、
『ほかのデバイス』に 『USB Serial Port』が表示されていることを確認します。



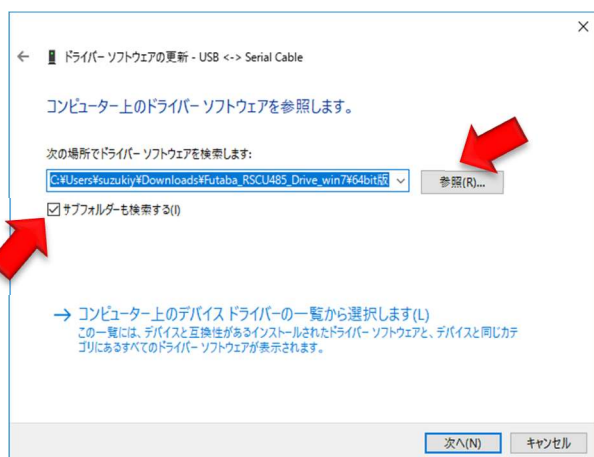
21. 前に行った手順と同様に『ドライバーソフトウェアの更新(P)...』をクリックする所と同様に下記の操作を繰り返し、再度ドライバーインストールを行います。



22. 下の画面がでるので、下段の『コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)』をクリックします。



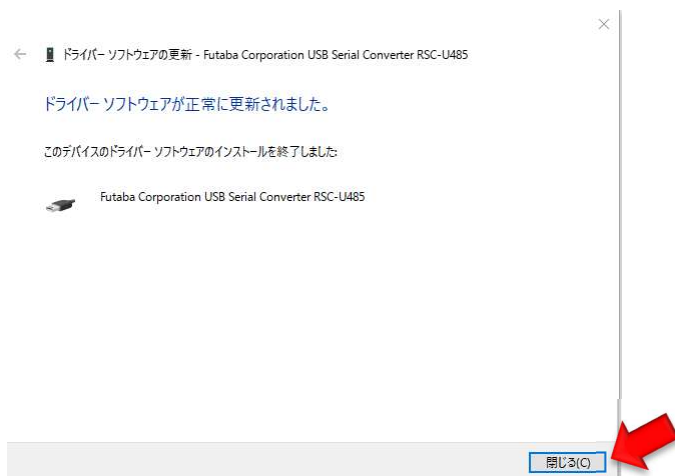
23. ダウンロードしておいた、RSC-U485 のドライバーソフトウェアのフォルダーを選択します。この時、『サブフォルダーも検索する(I)』のチェックボックスをチェック☑します。



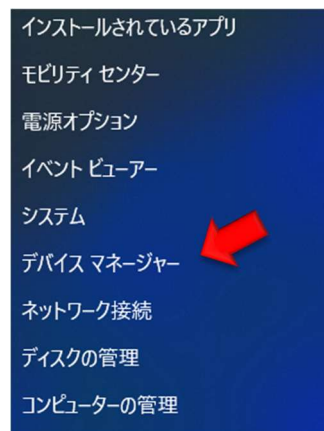
24. 下記画面がでるので、『このドライバーソフトウェアをインストールします(I)』をクリックします。



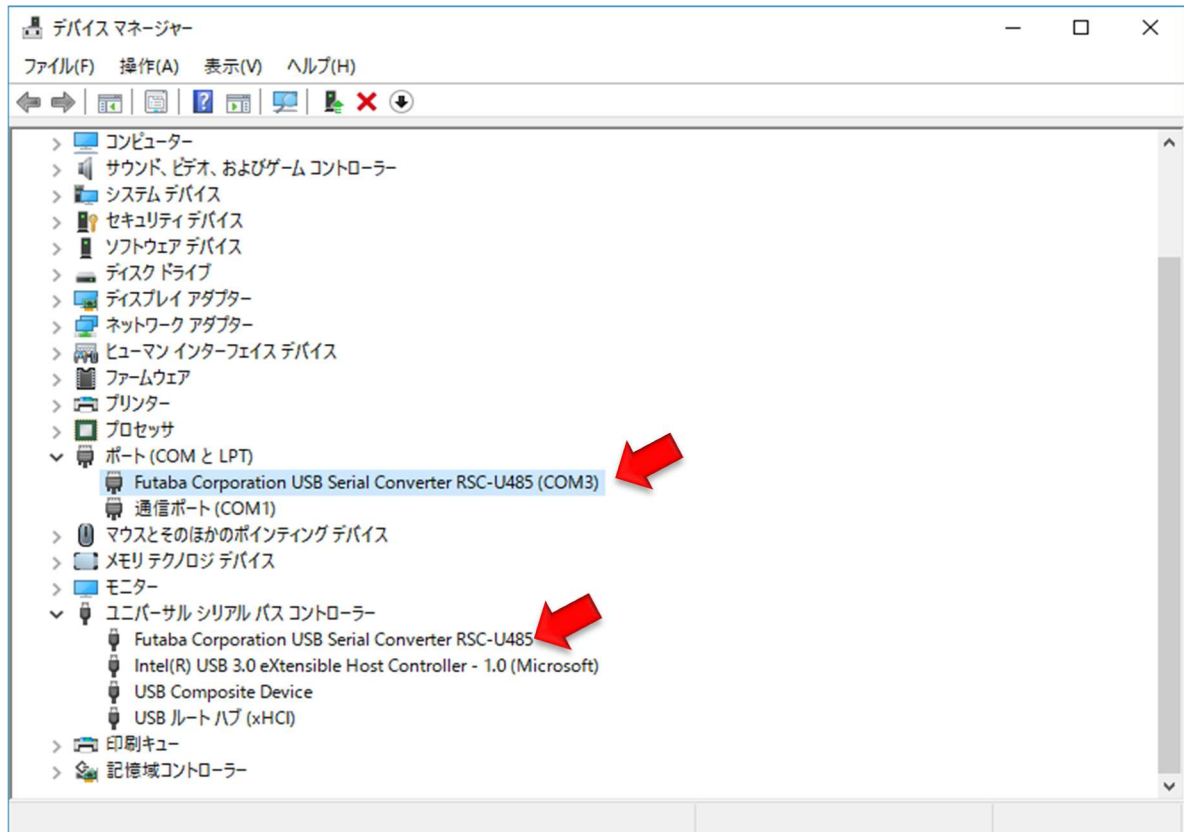
25. ドライバーソフトウェアがインストールされ、下記画面になるので、『閉じる(C)』ボタンをクリックします。



26. Windows キーを右クリックし、デバイスマネージャーをクリックします。



27. 『ユニバーサルシリアル バス コントローラー』に『Futaba Corporation USB Serial Converter RSC-U485』が表示され、
『ポート (COM と LPT)』に『Futaba Corporation USB Serial Converter RSC-U485 (COM3)』が表示されていることを確認します。
(COM3)の部分の数値は環境により変化します。数値がポート番号になります。



以上で、RSC-U485 のドライバーインストールは完了です。